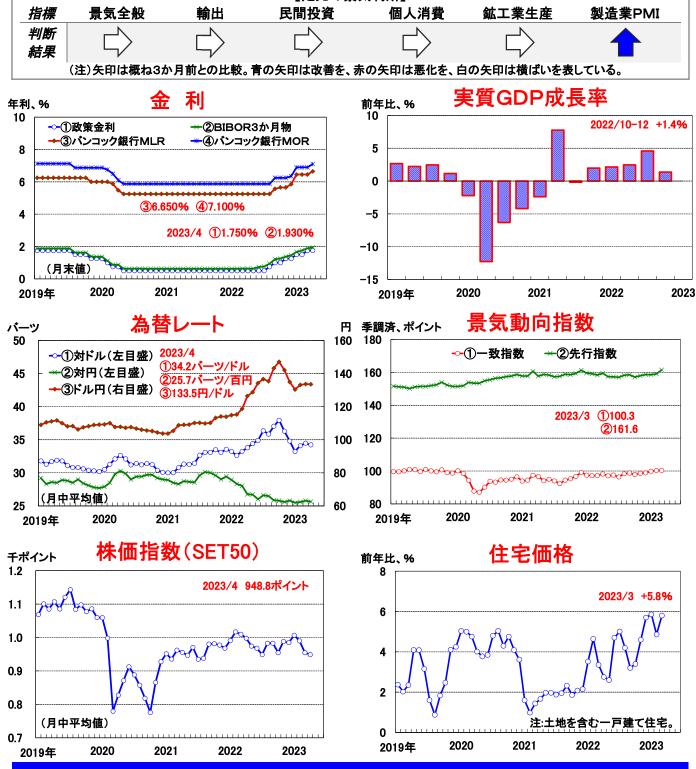
グラフで見るタイ経済 2023 年5月号(No. 167)

タイの景気は総じて底堅く推移している。3月の個人消費指数は小幅に低下したものの、高水準で推移している。利上げに伴うローン金利の上昇を背景に乗用車などの耐久財消費が減少したものの、海外観光客の入国増加を背景に非居住者消費が大きく改善している。一方、企業部門では、3月の工業生産指数と民間投資指数が小幅に低下したものの、続く4月の製造業PMI(中立水準は50)が60.4と過去最高を記録し、景況感が大きく改善した。PMIの内訳をみると、「生産」が大きく復調し、また内需向けを中心に「新規受注」も大幅に増加した。

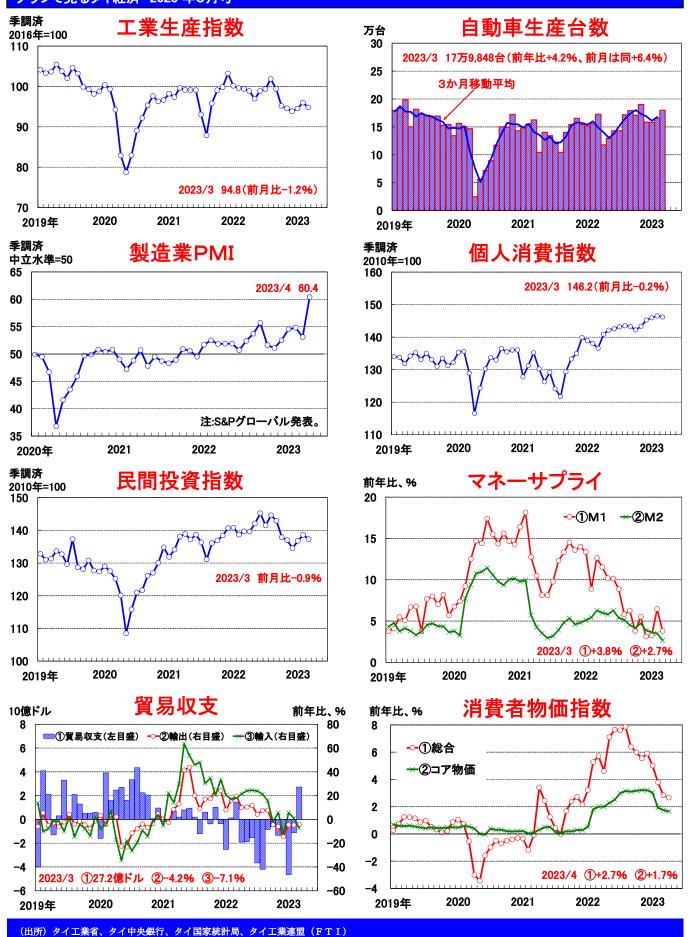
【足元の景気判断】



(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート 発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

グラフで見るタイ経済 2023 年5月号



本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。